

【主任介護支援専門員事例検討様式記載例】

グループ _____ 登録番号 _____ 氏名 _____

事例のタイトル

「 _____ 」

※自分自身が事例を振り返って、その事例で困難を感じた理由や、自分自身が課題だと思っていることを最も適切に表現されていると考えられるようなタイトルをつけます。

◆ケアマネージャーがこの事例を検討したいと思った理由◆

事例提供者がなぜこの事例を検討したいと考えるのかについて、できるだけ絞り込んだかたちで課題が述べられていると、事例検討会の焦点化がよりスムーズに進みます。

実践をしているとき、あるいは事例をまとめている時に気づいた自分の考える「課題」を書きます。

単に「独居で認知症の方とどう関わって行けばよいか知りたい」といった一般的な表現ではなく、「独居で認知症の利用者の支援の経緯で、●●を行ったことは問題だったのか？」といった具体的な表現を試みて下さい。

◆ケアマネージャーが把握している利用者の状況◆

利用者氏名	イニシャル or Aさん等	年齢		性別	
かかわりのきっかけ				援助期間	
本人と家族の要望 (困っている事)					

(家族)

家族構成図 ※ジェノグラム	同居 家族	
	別居 家族	

(医療における疾病・治療・入院歴)

年月	内容

◆初回面接◆

初回面接の状況とその時感じたこと等を記載する（本人の状況・日常生活・家族の状況など）

※初回面接の状況を思い出し、その特徴的な会話ややり取りの要約を記載します。

特記事項には、会話の中でケアマネが感じたこともそのまま記載して下さい。

年月日		場所		同席者	
初回面接の要約				特記事項（ケアマネが感じたこと）	

◆その後の気になるインシデント等◆

初回面接から支援をする中で気になったインシデント（出来事）と感じたこと

日付	インシデント	ケアマネが感じたこと
	※初回面接以降の特徴的なインシデントについて、その際のやりとりや要約等を記載します。 特徴的なエピソードやケースの転機となったと考えられるやりとり等を時系列で記載します。	※その時、ケアマネが感じたことをそのまま記載します。

◆ケアマネージャーによる利用者・家族等への印象・感じたこと◆

※上記初回面接からインシデントを通じて、事例提供者が分析する利用者・家族の状態像

◆ケアマネージャーが考える事例における問題点と援助の方向性◆

※上記経緯をふまえて、事例提供者が考える事例の問題点（自らの関わり方も含む）と援助の方向性（望ましい方向、配慮すべき点等）

◆支援経過（援助の転機ごとに記入）◆

年月日は具体的な日付または〇月～〇月としてまとめてもかまわない

年月日	要約
	※特徴的なインシデントも含め、どのようなことが起こって行ったかの要約。利用者の生活やケアマネとの関係性の変化等について記載すること。 特に変化があった際には、その前後の状況をしっかりと記載すること。